



日本プライマリ・ケア連合学会
四国ブロック支部



発行人：阿波谷敏英,川上和徳
事務局 〒761-2103
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1
綾川町国民健康保険陶病院気付
副支部長/事務局長 川上和徳
Tel. 087-876-1185 Fax. 087-876-3795
E-mail jpicaardk@yahoo.co.jp

★ 第24回日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部地方会 報告

大会長： 原 穂高 (愛媛生協病院)

2024年11月16日、17日(土、日)愛媛県立中央病院管理棟講堂で第24回日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部地方会、第31回四国地域医学研究会合同学術集会を開催しました。現地、オンラインのハイブリッド形式で合計123名の参加をいただきました。

テーマを”Vulnerable and Underserved Populations Care”にした理由は、社会情勢の趨勢による健康格差の拡大を踏まえ健康の社会的決定要因を直視したいと考えたからです。社会的弱者や適切なサポートを受けられていない人々が現実において、それを支援している人々が細々と支援活動をしている様子を知っていただく機会となりました。奇しくも近年の震災やコロナ禍といった状況下において浮き彫りになったことを受け、正月に発災した石川県能登半島の震災で現地の支援活動を行った愛媛県出身の清水雄三先生に、現場の生々しい報告を行っていただきました。松山市地域包括支援センター小野・久米の社会福祉士松山絵理香さんは取り残されがちな人々へのサポート事例の報告



と考察を、NPO 法人野真戸の栗田三恵子さんは無料塾やみんなの食堂（子どもだけでなく誰でも来られる）の活動報告と志を、えひめ日本語教育人財ネットの向井留実子さんは地方県に在住する外国人の現状と支援の課題を、それぞれ伝えていただきました。

一般演題には現地、オンライン合わせて計 20 題を発表していただきました。

専攻医ポートフォリオ発表会では 3 名の専攻医が発表し、コメンテーターから洞察を深めるような質問が投げかけられました。参加者からの質疑にも堂々と渡り合う専攻医の姿は立派でした。



日本プライマリ・ケア連合学会理事長草場鉄周先生に四国へ来訪していただき、変化する時代のなかでプライマリ・ケア医/総合診療医/家庭医に期待されること、学会の役割、医療情勢を踏まえ未来への展望を話していただきました。

その草場先生も参加した懇親会いかがでしたか？ まさかの伊予鉄高島屋内のお店で開催、みなさん歓談されていました。一次会だけでは飲み足りない！懇親会には参加できない！そんな方のために用意した松山市グルメガイドはご活用いただけただけでしょうか。今度松山を訪れる際に参考にしてください。

オプション企画の朝ラン、キャリア・カフェ・ミニも開催されました。また当地方会で初めて託児所を設置して3名の児童が利用しました。詳細は別稿に載せます。

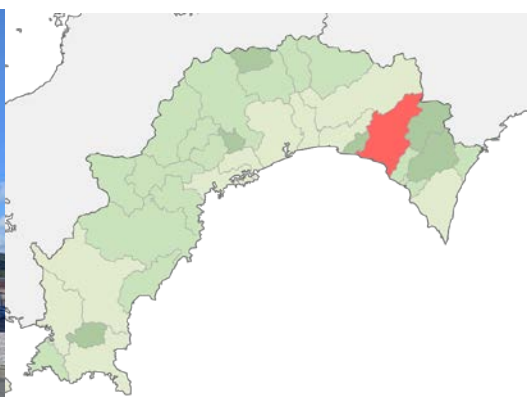


前年の香川大会の時に、次期大会長を引き受けることを表明してからというもの、関係各所の皆様方には大変な心配をかけつづけながらも、どうにか形になる大会として終わることができました。ひとえに発破を掛けてくださる方々、そっと根回しをしてくださる方々、サポートしてくださる地域医療振興協会の方々、副大会長を引き受けてくださった杉山先生、二宮先生、そしてすべての関係者のみなさま方のおかげです。心より感謝申し上げます。



来年の高知大会は気軽な気持ちで参加しようと思います。次期大会長あき総合病院の場先生はじめ現地実行委員会のみなさま方におかれましては、準備に御苦労もあると思いますがよい地方会をつくっていただきますようお願いして、エールを送ります。

第25回 四国ブロック支部地方会は、2025年11月に高知県安芸市で開催予定です。県立あき総合病院やまのホールを会場として、内科 的場俊先生に大会長をおつとめいただきます。詳細は、ニュースレター、四国ブロック支部のウェブサイトでご案内して参ります。多くの方のご参加をお願いします。



★ 第24回日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部地方会 ポートフォリオ発表会報告

日本プライマリ・ケア連合学会 専門研修支援委員会 植本 真由(高松平和病院)

2024年11月17日午前8時30分より、ポートフォリオ発表会が行われました。専攻医の前田佳純先生(高知県立あき総合病院)、佐伯治馬先生(HITO病院)、川寄美智子先生(愛媛生協病院)の3名に発表していただきました。司会は佐藤龍平先生(高松平和病院)、コメンテーターとして、五十野博基先生(HITO病院)、大倉佳宏先生(健生石井クリニック)に参加していただき、ポートフォリオをより深めていけるような質問やコメントをいただきました。専攻医の先生が悩みの生じた症例をどのように乗り越え成長していったのか、振り返りを通して、更に成長していくポイントはどこなのかが明らかになり、専攻医・指導医共に大変勉強になる会となりました。



四国ブロック支部では、専門研修関連行事として春の新専攻医オリエンテーション、今回ご報告した地方会でのポートフォリオ発表会をおこなっています。いずれも、専攻医、指導医の他どなたでも参加いただけます。次回、新専攻医オリエンテーションは、2025年4月26日(土)、香川大学医学部にて開催予定です。詳細は次号のニュースレターでご案内します。

★ 第24回日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部地方会 託児所報告

大会長： 原 穂高(愛媛生協病院)

2024年11月16日、17日(土、日)愛媛で第24回日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部地方会、第31回四国地域医学研究会合同学術集会を開催しました。本大会では四国ブロック支部地方会において初めて託児所を設置するに至りましたので、その経緯と結果を報告いたします。

起：元はといえば阿波谷先生が「地方会にも託児所ができるといいなあ(意識)」とつぶやいたことが始まりでした。

承：時を経て2023年11月香川大会で次期大会長を引き受けた後、子育て中の先生達と話していた際に「今度の地方会に託児所あるんですか？」と当たり前のように尋ねられました。とはいえ、初めてのことでですからノウハウもツテもなく途方に暮れたまま時間だけが過ぎていきました。

転：副大会長の杉山先生と相談をして、日本プライマリ・ケア連合学会学術集会では託児所があるから運営事務局に聞いてみようということになり、あゆみコーポレーションに問い合わせたところ、西日本を拠点にしている大手を紹介してくださいました。そちらの企業に問い合わせで見積もりをとったところ、約30万円の提示(内訳は2日間、預かり5人、スタッフ2人)でしたので率直に驚きました。本社から四国への派遣費用(交通費、宿泊費)が高くなる要因でしたが、相場がわからないため妥当かどうか判断できませんでした。また会場である県立中央病院の託児所を利用できるかお願いしましたが、残念ながら最終的に受け入れ困難でした。

同じく副大会長の二宮先生も交えて相談をしているうちに、地元愛媛にも託児所をしてくれる業者があるの

ではないか?ということになりそれらしき企業をピックアップしてもらいました。愛媛開催の他学会を調べあげ、託児所を設置した学会で実績のある企業を選定しました。見積もりを取ると約7万4千円の提示(内訳は2日間、スタッフ1人)でした。詳しく尋ねると、預かる児の年齢や人数によりスタッフ数が変動し、値段も変動するという事でした。スタッフ2人になっても遠方の大手よりも高額になることはなさそうですし、地元企業に依頼することになりました。みなさまへお知らせできるようになったのが遅くなってしまったことを陳謝いたします。

結: 事前申し込み制にして、依頼のあった方にのみ託児企業へ直接届くフォームを送りました。安全上の理由から託児所の場所を伏せるため、ということもあるそうです。結局、1日目3人、2日目2人の児が利用しました。年長〜小学低学年でしたので保育士スタッフ1人でした。金額は延長分を加えて7万4千円弱でした。今回は託児代として1日あたり2,000円をお願いしたので延べ5人計1万円を受け取りました。6万4千円の赤字です。次回からは学術大会や季別セミナーにならって1,000円にそろえる案が出ています。

Next steps

- ・赤字でも託児所は必要と受容する合意の形成、文化の醸成をめざす。
- ・早期に地元業者に依頼して、準備をする。
- ・必要経費が気にならないくらい、四国ブロック支部の会員数、代議員数をふやす。



★ 総合診療セミナーのご案内

高知家総合診療専門研修プログラム事務局: 岩下 演久 (高知大学医学部家庭医療学講座)

このたび、高知家総合診療専門研修プログラムで、日本プライマリ・ケア連合学会の雑誌「プライマリ・ケア」に漢方をテーマに連載されておられる吉永亮先生(飯塚病院 東洋医学センター漢方診療科)にお越しいただき、「総合診療における漢方」というタイトルで実施いたします。

皆様も漢方を用いる機会は多くあると存じますが、こむら返りであれば芍薬甘草湯、更年期障害であれば加味逍遙散といった一対一の対応となることも多いのではないのでしょうか?そこで、より患者さんの状況に応じて用いることができるよう、「明日から実践できる一歩踏み込んだ漢方」をテーマとして、セミナーを企画いたしました。総合診療以外の専攻医、研修医、学生、もちろん指導医も大歓迎です。

なお、この研修会は、日本プライマリ・ケア連合学会の専門医・認定医・認定薬剤師の更新の単位取得、新家庭医療専門研修のOff-JTの単位取得が可能です。

多くの方のご参加をお待ちしています。

一般社団法人 高知医療再生機構 令和6年度 専門医等養成支援事業
高知大学医学部FD 発展講習

総合診療セミナー
総合診療における漢方
明日から実践できる
一歩踏み込んだ漢方

講師
飯塚病院 東洋医学センター
漢方診療科
吉永 亮先生



こんな
お話を
します

- 1, プライマリ・ケア漢方 -海の漢方・山の漢方-
- 2, 腹診実技
- 3, 漢方よろず相談

日時 '25 1/25 (土) 13時~16時

会場 ちより街テラス(高知県高知市知寄町2丁目1番37号)
会議室1・2 (立体駐車場3階 無料利用可)

定員 40名

対象 医学生/臨床研修医/専攻医/
指導医/看護学生/看護師/医
療関連職の方/大学教員

申込 申込期限 1月10日(金)
右記QRコードからお申し込みください



主催: 高知家総合診療専門研修プログラム
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小通 高知大学医学部家庭医療学講座内
電話&FAX: 088-880-2761 E-mail: kochisogong@gmail.com

明日から実践できる一歩踏み込んだ漢方

日時：令和7年1月25日(土) 13時～16時

会場：ちより街テラス 会議室1・2 (駐車場無料)

参加費：無料

対象：医学生、臨床研修医、専攻医、指導医、薬剤師、看護師、医療関連職の方、大学教員

定員：40名

研修会単位：日本プライマリ・ケア連合学会の以下の単位が取得できます

■専門医・認定医更新のための単位 2.5単位

■新家庭医療専門研修 Off-JT の単位 2.5単位 領域：臨床

■プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位 1単位

※この研修会は、高知家総合診療専門研修プログラムが(一社)高知医療再生機構専門医等養成支援事業としておこなうものです。

【申込】 下記フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/jdmmX4kJP9eQuLBC8>

申込期限は1月10日(金)です。定員に達し次第募集終了しますので、お早めにお申し込みください。

★ 今年度の四国ブロック支部功労賞は該当ありませんでした

支部長 阿波谷敏英 (高知大学医学部家庭医療学講座)

毎年、地方会の開催にあわせて、支部功労賞の選出をしています。支部功労賞は、長年にわたりプライマリ・ケアに従事し、多大な功績のあるものを顕彰するものです。本学会および四国ブロック支部の基本理念がそれぞれの地域での真摯なプライマリ・ケア活動にあることを広く知らしめることを目的としています。

これまで、7回の選考がおこなわれ、4の方が受賞されています。2024年度は、9月頃より、支部役員(学会理事、代議員)より推薦を募り、支部長、副支部長による投票をおこないましたが、条件を満たす方はおいでませんでした。次回、2025年11月に選考します。



- ◆ 第1回(2017年) 板東 浩 先生
- ◆ 第2回(2018年) 大原 昌樹 先生
- ◆ 第3回(2019年) 該当者なし
- ◆ 第4回(2020年) 川本 龍一 先生
- ◆ 第5回(2021年) 該当者なし
- ◆ 第6回(2022年) 該当者なし
- ◆ 第7回(2023年) 谷 憲治 先生
- ◆ 第8回(2024年) 該当者なし

